

令和 8 年度

令和 6 年災33-121切添 2 号頭首工災害復旧工事

鶴岡市羽黒町荒川字東切添地内

鶴岡市羽黒庁舎産業建設課

設 計 概 要	変 更 概 要
<p>土工 掘削 152m³</p> <p>コンクリート堰堤工 コンクリートポンプ車打設 98m³</p> <p>護床工 消波根固めブロック製作 9個 既設根固めブロック撤去・仮置き・再設置 9個 消波根固めブロック撤去(0.64~1.9t) 96個</p> <p>仮設工 高密度ポリエチレン管布設撤去 φ600 L=6m 高密度ポリエチレン管布設撤去 φ1000 L=32m 大型土のう 236袋 製作ヤード 85m² 工事用道路除雪 2,418m² 仮設ヤード除雪 227m²</p>	

本 工 事 内 訳 書

工事区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費	河川工事							
	土工			式	1			
		掘削	土砂、オープンカット、無し、無し、5,000m3未満	m3	152			
		床掘り	土砂、標準、無し、無し	m3	27			
		積込(ルーズ)	土砂、土量50,000m3未満	m3	63			
		盛土(タンパ締固め)	締固め区分Ⅰ,粘性土・礫質土	m3	63			
		土砂等運搬	標準、バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)、土砂(岩塊・玉石混)	m3	98			
		整地	残土受入れ地での処理	m3	98			
	堰堤工			式	1			
		基面整正		m ²	77			

本 工 事 内 訳 書

工事区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		型枠	一般型枠、均しコンクリート	m ²	6			
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物、人力打設、24-12-25(20)(高炉)、特殊養生	m ³	7			
		型枠	一般型枠、鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)	m ²	29			
		型枠	一般型枠、鉄筋・無筋構造物	m ²	85			
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物、コンクリートポンプ車打設、18-8-40(20)	m ³	98			
		目地板	30m ² 未満	m ²	17			
	護床工			式	1			
		消波根固めブロック製作	2.5tを超え5.5t以下、鋼製型枠10t未満、21-8-25(20)	個	9			
		消波根固めブロック横取り	2.5tを超え5.5t以下、ラフテレンクレーン 25t吊	個	9			
		消波根固めブロック運搬	2.5tを超え5.5t以下、積込み・据付け(層積)、1個、0.5km以	個	9			

本 工 事 内 訳 書

工事区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		消波根固めブロック据付け	2.5tを超え5.5t以下、陸上、実数入力、層積、ラフテレーンクレーン	個	9			
		フック(ホロスケーヤ-用)	4.0t用 φ19 L=1107mm	個	68			
		ジャッキ(ホロスケーヤ-用)	4.0t用 φ19 L=1246mm	組	34			
		根固めブロック撤去	撤去・仮置き、無し、ラフテレーンクレーン 25t吊	個	9			
		消波根固めブロック横取り(再設置)	2.5tを超え5.5t以下、ラフテレーンクレーン 25t吊	個	9			
		消波根固めブロック運搬	2.5tを超え5.5t以下、積込み・据付け(層積)、1個、0.5km以	個	9			
		消波根固めブロック据付け	2.5tを超え5.5t以下、陸上、実数入力、層積、ラフテレーンクレーン	個	9			
		根固めブロック撤去	撤去・積込み、無し、ラフテレーンクレーン 25t吊	個	96			
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物、バックホウ(クレーン機能付)打設、24-12-25	m3	1.2			
	仮設工			式	1			

本 工 事 内 訳 書

工事区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		路体(築堤)盛土	4.0m以上、20,000m3未満、無し	m3	315			
		掘削	土砂、オープンカット、無し、無し、5,000m3未満	m3	315			
		土砂等運搬	標準、バックホウ山積 0.8m3(平積0.6m3)、土砂(岩塊・玉石混)	m3	315			
		整地	残土受入れ地での処理	m3	315			
		土砂又はずり等 無規格		m3	420			
		砂利舗装工(機械)(敷均し)	敷均し幅2.5m以上、舗装面仕上げ無し、t=10cm	m ²	160			
		道路補修		m ²	150			
		高密度ポリエチレン管 機械布設	呼び径600mm	m	6			
		高密度ポリエチレン管 機械撤去	呼び径600mm 設置1/2	m	6			
		高密度ポリエチレン管 機械布設	呼び径1000mm	m	32			

本 工 事 内 訳 書

工事区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		高密度ポリエチレン管 機械撤去	呼び径1000mm 設置 1/2	m	32			
		大型土のう製作・設 置(バックホウ設置)	作業半径6m以下	袋	236			
		大型土のう撤去 (バックホウ撤去)	作業半径6m以下	袋	236			
		ポンプ運転(作業時 排水)	120～450m ³ 未満/hr 揚程15m	日	40			
		構造物とりこわし工 (機械施工) 夜間	鉄筋構造物 制約無,低 騒音・低振動	m ³	21			
		殻運搬	コンクリート(鉄筋)構造物と りこわし、機械積込、無 し、10.9km以下	m ³	21			
		コンクリート塊処分費	鉄筋(田川砂利工業)	m ³	21			
		構造物とりこわし工 (機械施工) 夜間	無筋構造物 制約無,低 騒音・低振動対策不要	m ³	54			
		殻運搬	コンクリート(無筋)構造物と りこわし、機械積込、無 し、10.9km以下	m ³	54			
		コンクリート塊処分費	無筋(田川砂利工業)	m ³	54			

地区名 切添2号頭首工
箇所番号 33-121

数 量 計 算 書

工 事 数 量 総 括 表

切添2号頭首工 地区 令和6年災 33-121工区)

項 目	名 称	規 格	単 位	単位コード	数 量	摘 要 (施工条件・参照計算等)
土 工			式		1	
	掘削(C1)	BH0.80m ³ 転石混じり土	m3		152	151.9
	床掘(C2)	W<2.5m 転石混じり土	m3		27	27.2
	バックホウ投入	BH0.80m ^{3(ルーズ)} 転石混じり土	m3		63	62.9
	埋戻	まき出し 振動タンパ	m3		63	62.9
	残土処理	DT 4t L=2.0km	m3		98	98.3
	残土敷均し	ブルドーザー15t	m3		98	98.3
堰 堤 工						
	基面整正		m2		77	76.5

項 目	名 称	規 格	単 位	単位コード	数 量	摘 要 (施工条件・参照計算等)
	均し基礎コンクリート 型枠	無筋構造物	m2		6	6.3
	均し基礎コンクリート	小型 18-8-40	m3		7	7.1
	型枠工	合板円形型枠	m2		29	28.9
	型枠工	無筋構造物	m2		85	85.2
	コンクリート打設	無筋構造物 18-8-40	m3		98	98.0
	目地材	t=10mm	m2		17	17.3
護 床 工			式		1	
	新設 平型ブロック		個		9	9
	現場製作		個		9	9

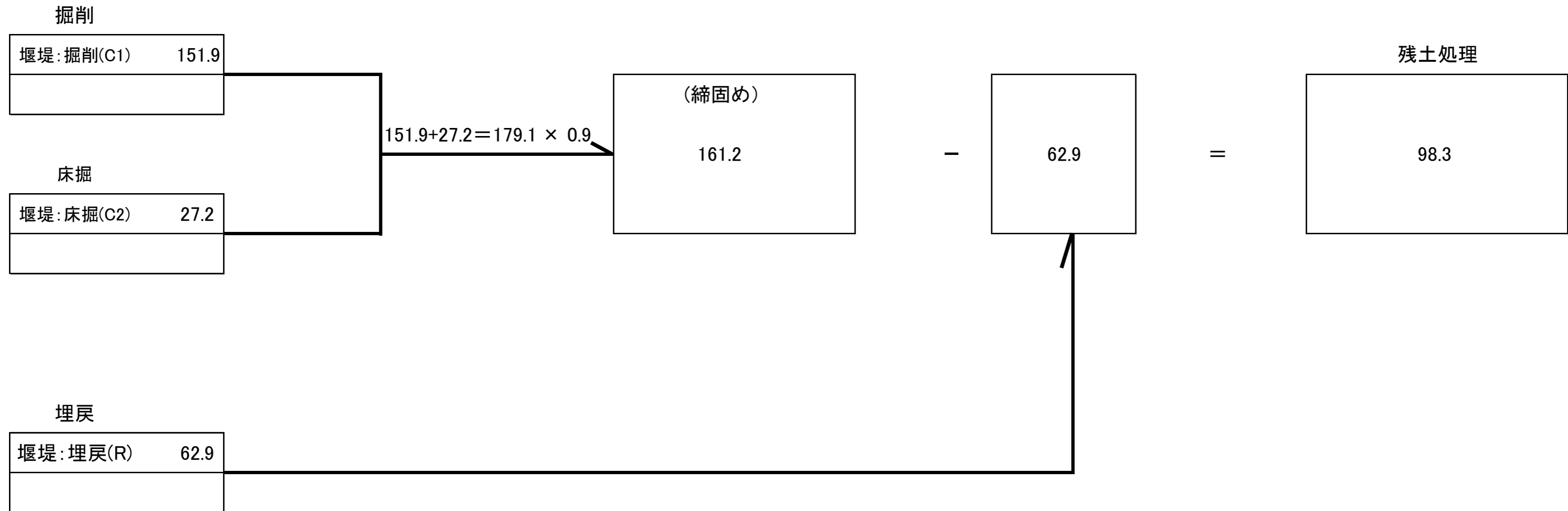
項 目	名 称	規 格	単 位	単位コード	数 量	摘 要 (施工条件・参照計算等)
	横取り		個		9	9
	運搬	L=30m	個		9	9
	積込・据付		個		9	9
	連結金具	フック 4t用	本		68	68
	連結金具	シャックル4t用	組		34	34
	既設平型ブロック	撤去・仮置(4t級)	個		9	9
	横取り	再設置	個		9	9
	同上 運搬	L=30m	個		9	9
	同上 積込・据付		個		9	9
	コンクリート ブロック	撤去・積込 0.64~1.9t	個		96	96
	間詰コンクリート	無筋構造物 18-8-40	m3		1.2	1.2

項 目	名 称	規 格	単 位	単位コード	数 量	摘 要 (施工条件・参照計算等)
仮 設 工			式		1	
	仮設道路盛土	BH0.8m3 砂礫土	m3		315	315.2
	仮設道路撤去	BH0.8m3 砂礫土(ルーズ)	m3		315	315.2
	残土運搬	DT 4t 2.0km	m3		315	315.2
	残土敷均し	ブルドーザー 15t	m3		315	315.2
	仮設道路購入土	土砂又はズリ	m3		420	420.3
	敷砂利工	RC-40 t=10cm	m2		160	160.2
	補修砂利	RC-40 w=1.0m t=5cm	m2		150	150.0
	高密度ポリエチレン管	布設・撤去 Φ600	m		6	6.0
	〃	布設・撤去 Φ1000	m		32	32.0
	大型土のう	制作・据付	袋		99	99.0

項 目	名 称	規 格	単 位	単位コード	数 量	摘 要 (施工条件・参照計算等)
	大型土のう	制作・据付(2回目)	袋		137	137.0
	大型土のう	撤去	袋		236	236.0
	水替工	排水ポンプ 据付・撤去	箇所		1	
	構造物取壊し	鉄筋コンクリート	m3		21	20.5
	構造物取壊し運搬	L=2.0km 鉄筋コンクリート	m3		21	
	Co殻処分費	鉄筋コンクリート殻	m3		21	
	構造物取壊し	無筋コンクリート	m3		54	54.0
	構造物取壊し運搬	L=2.0km 無筋コンクリート	m3		54	
	Co殻処分費	無筋コンクリート	m3		54	
	製作ヤード設置工	敷砂利 RC-40 t=10cm	m2		85	85.0
	ブルドーザー敷均し	ブルドーザー 15t	m2		85	

項 目	名 称	規 格	単 位	単位コード	数 量	摘 要 (施工条件・参照計算等)
	盛土材	購入土(山砂)	m3		34	34.0
	ブル敷均し・締固め	ブルドーザー 15t	m3		26	25.5
	盛土撤去	BH0.8m3 掘削・積込	m3		26	25.5
	残土運搬	DT4t L=2.0km	m3		26	25.5
	残土敷均し	ブルドーザー 15t	m3		26	25.5
	除雪費		式	1		
	WH除雪対象量		m3		2418	2418.0
	BH除雪対象量		m3		227	227.0

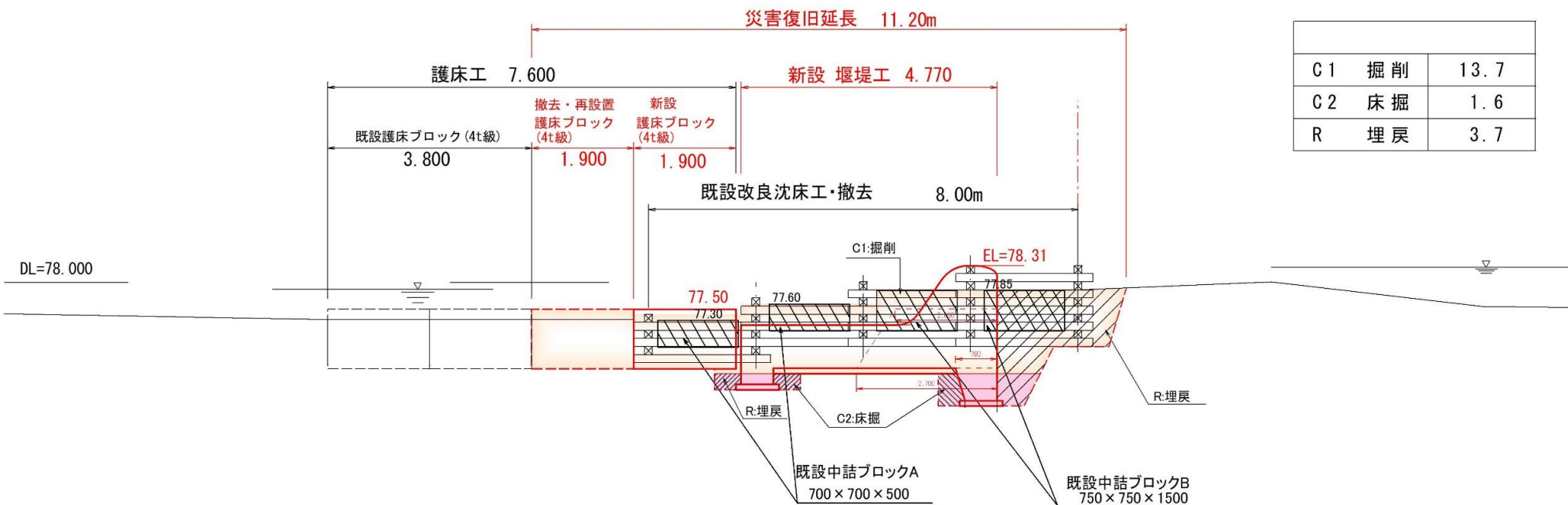
土工計画模式図



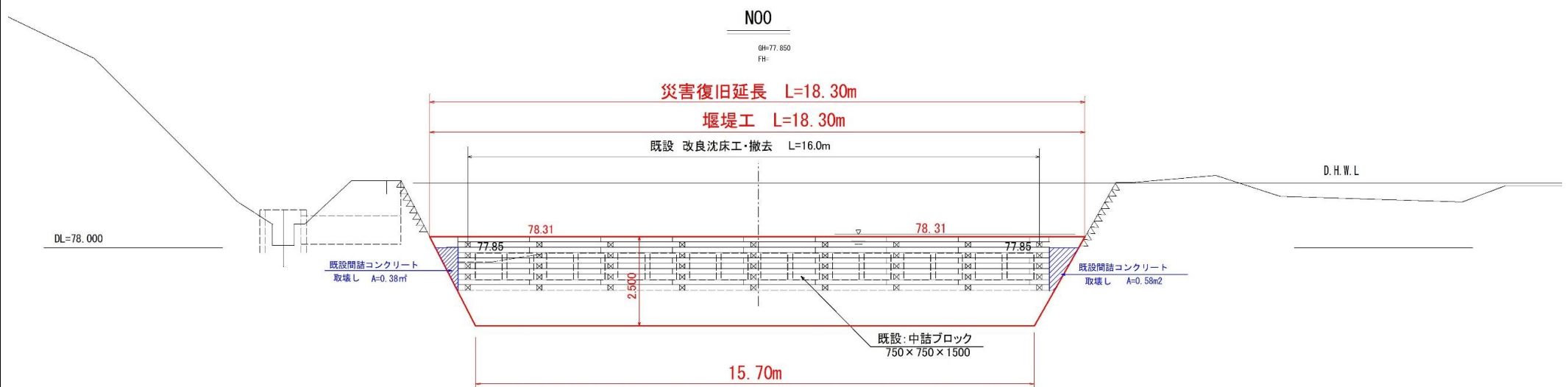
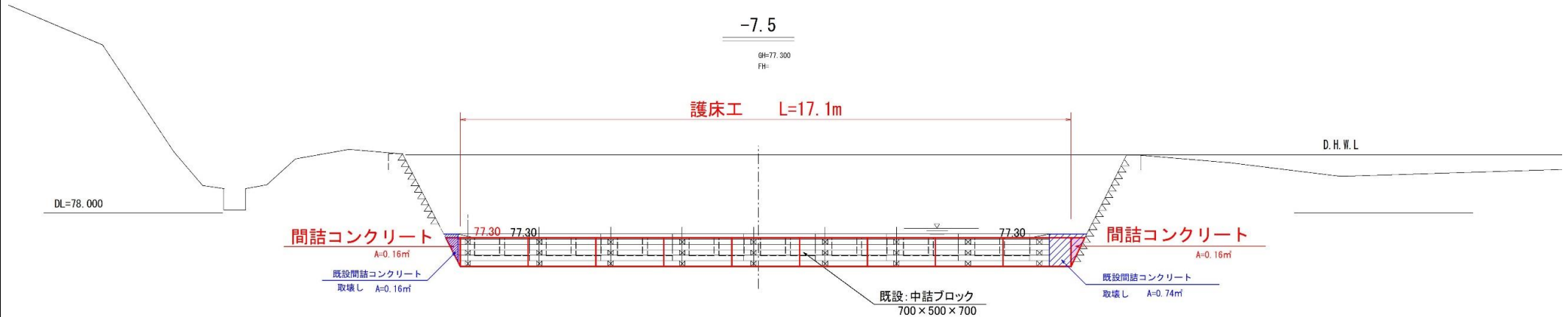
土工根拠図(1)

NO. 0

GH=77.850
FH=



土工根拠図(2)



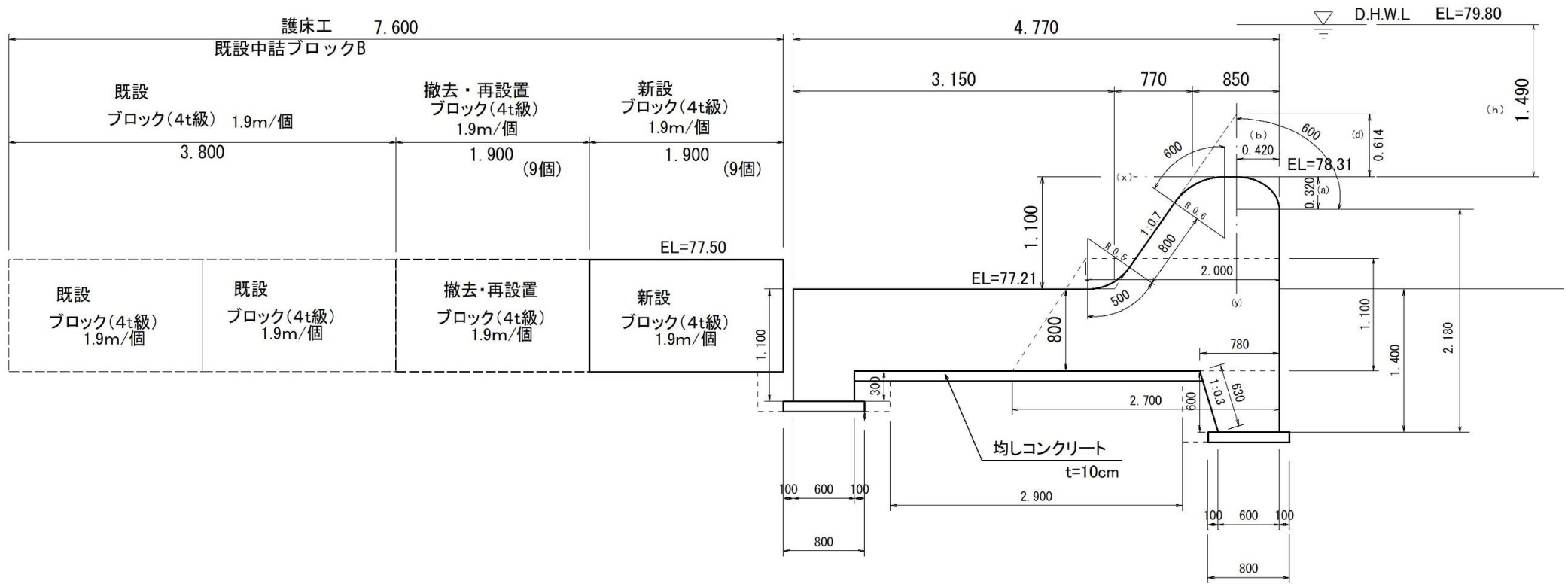
土工計算書(1)

数量計算書

名称	区分	算式	数量	略図
C1:掘削		$13.7 * 17.0 = 232.9$	232.9 m ³	
C2:床掘		$1.6 * 17.0 = 27.2$	27.2 m ³	
R:埋戻		$3.7 * 17.0 = 62.9$	62.9 m ³	
掘削(土)		$232.9 - (20.5 + 60.5) = 151.9$	151.9 m ³	

堰堤工数量根拠図

堰堤工 L=17.0m



堰堤工(1)			数量計算書	
名称	区分	算式	数量	略図
基面整正		$(0.80+2.90+0.80) * 17.0 =$ 76.5	76.5 m2	
均しコン型枠		$(0.10 * 15.7) * 4 =$ 6.3	6.3 m2	
均しコンクリート	18-8-40	$(0.80*0.10*15.7)*2+(0.10*2.90*15.7)=$ 7.1	7.1 m3	
型枠工	合板円形型枠	$(0.50+0.60+0.60)*17.0=$ 28.9	28.9 m2	
型枠工	無筋構造物	$(1.10+0.30+0.63+2.18+0.80)*17.0=$ 85.2	85.2 m2	
生コンクリート	無筋構造物	$((0.60*0.30+0.80*4.77+((0.85+1.62)*1/2)*1.10+((0.60+0.78)*1/2))*0.60)*17.0=$ 98.0	98.0 m3	

護床ブロック(1)

数量計算書

名称	区分	算式	数量	略図						
新設平型ブロック	4.0t級		9個	<p>平型ブロック</p> <table border="1"> <caption>諸数値</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体積</td> <td>1.745 (m³)</td> </tr> <tr> <td>参考重量</td> <td>4.014 (t)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	数値	体積	1.745 (m ³)	参考重量	4.014 (t)
項目	数値									
体積	1.745 (m ³)									
参考重量	4.014 (t)									
現場製作			9個							
横取り			9個							
運搬	L=30m		9個							
積込・据付			9個							

護床ブロック (2)

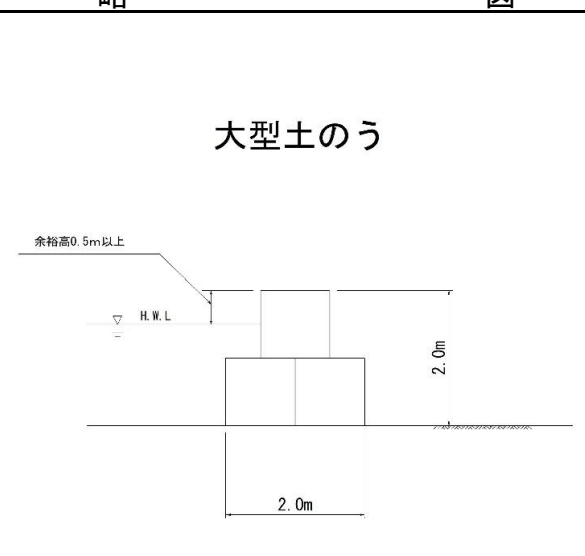
数量計算書

名称	区分	算式	数量	略 図				
連結金具	フック 4t用		68 本	<p>フック・シャックル詳細図</p> <p>フック・シャックルの数</p> <table border="1"> <tr> <td>フック</td> <td>68 (本)</td> </tr> <tr> <td>シャックル</td> <td>34 (組)</td> </tr> </table>	フック	68 (本)	シャックル	34 (組)
フック	68 (本)							
シャックル	34 (組)							
連結金具	シャックル 4t用		34 組					
既設平型ブロック	撤去・仮置 4.0t級		9 個					
既設平型ブロック 横取り	再設置 4.0t級		9 個					
同上運搬	L=30m		9 個					
同上積込・据付			9 個					

仮設道路工			数量計算書	
名称	区分	算式	数量	略図
仮設道路盛土	砂礫土	$14.5 \times 33.4 / 2 + 7.3 \times 20.0 / 2 = 315.2$	315.2 m ³	
仮設道路盛土 撤去			315.2 m ³	
残土処理	積込・運搬 DT 4t 2.0km		315.2 m ³	
残土敷均し	ブルドーザー15t		315.2 m ³	
仮設道路 購入土	土砂又はズリ	$315.2 \times 1.2 / 0.9$	420.3 m ³	
高密度 ポリエチレン管	D600		6.0 m	
	D1000	$8.0 \times 4 = 32.0$	32.0 m	
敷砂利工	RC-40 t=10cm	$(33.4 + 20.0) \times 3.00 = 160.2$	160.2 m ²	
補修砂利	RC-40 w=1.0m t=5cm	$(50 + 100) \times 1.00 = 150.0$	150.0 m ²	

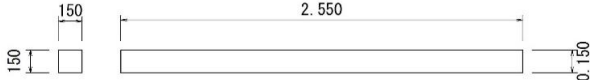
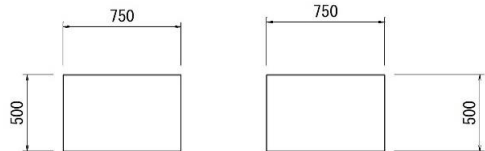
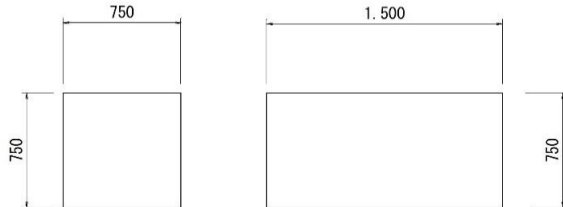
仮設工

数量計算書

名称	区分	算式	数量	略図
大型土のう	制作・据付	$(39.0 / (1.10 * 1.08)) * 3 = 98.5$	99 袋	<p>大型土のう</p> 
	制作・据付(2回目)	$(54.0 / (1.10 * 1.08)) * 3 = 136.4$	137 袋	
	撤去		236 袋	
排水ポンプ 水替え日数		工事日数 / 3 120日 / 3	40 日	
排水ポンプ 据付・撤去			1.0 ヶ所	

撤去構造物 (1)

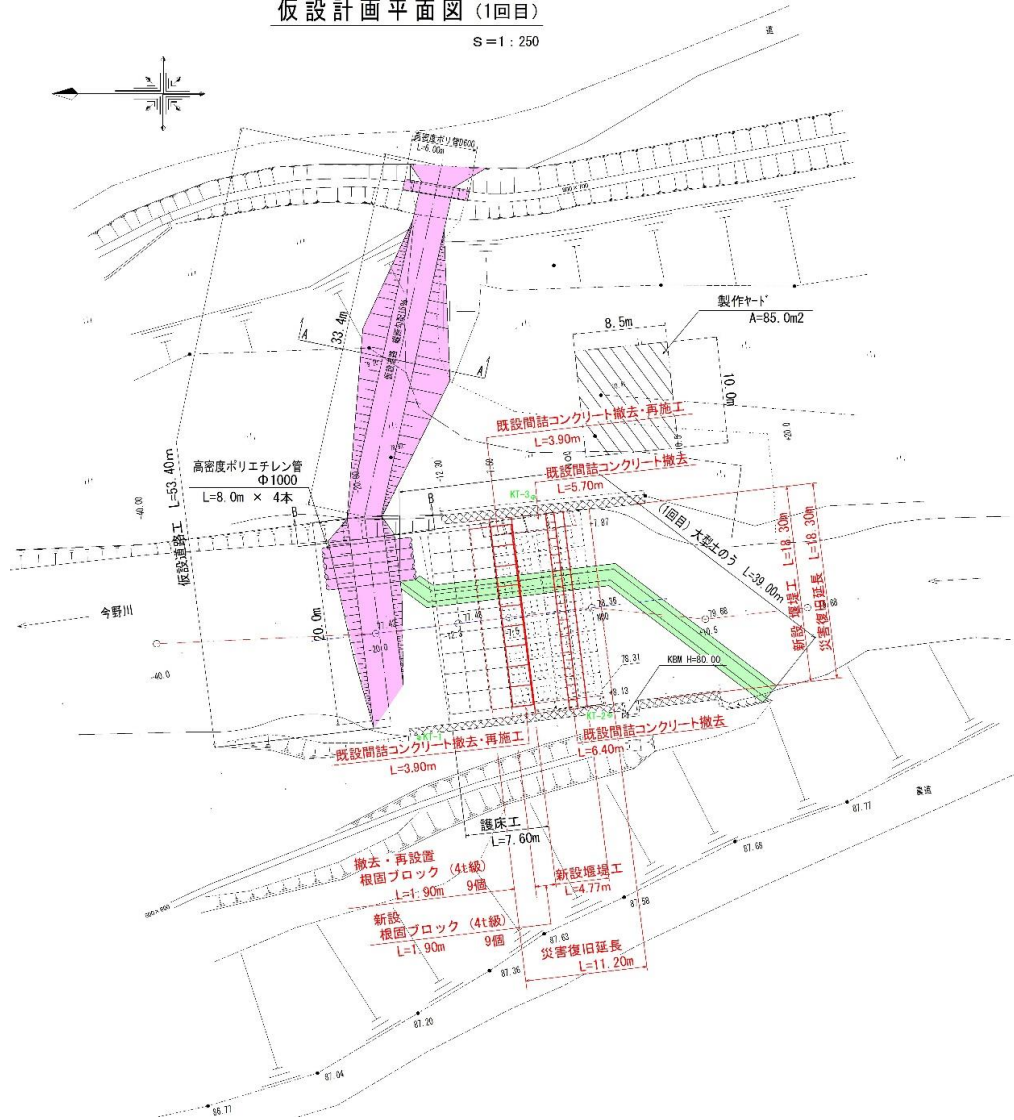
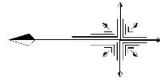
数量計算書

名称	区分	算式	数量	略図
方格材	鉄筋コンクリート	$(455 \times 3 / 4) \times 0.06 = 20.5$	20.5 m ³	<p style="text-align: center;">撤去構造物</p> <p>方格材 (0.15 * 0.15 * 2.55 = 0.06m³) (N=455本) (鉄筋コンクリート)</p>  <p>中詰ブロック A (0.50 * 0.75 * 0.75 = 0.28m³) (N=64個) (無筋コンクリート)</p>  <p>中詰ブロック B (0.75 * 0.75 * 1.50 = 0.84m³) (N=32個) (無筋コンクリート)</p> 
中詰ブロックA	無筋コンクリート	$64 \times 0.28 = 17.9$	17.9 m ³	
中詰ブロックB	無筋コンクリート	$32 \times 0.84 = 26.9$	26.9 m ³	
(撤去・再設置分) 平型ブロック	無筋コンクリート	$9 \times 1.74 = 15.7$	15.7 m ³	
鉄筋コンクリート			20.5 m ³	
(掘削控除分) 無筋コンクリート		$17.9 + 26.9 + 15.7 = 60.5$	60.5 m ³	

撤去構造物 (2)			数量計算書	
名称	区分	算式	数量	略図
間詰コンクリート	無筋コンクリート	$0.16 \times 3.90 + 0.74 \times 3.90 + 0.38 \times 6.40 + 0.58 \times 5.70 = 9.23$	9.2 m ³	
構造物取壊し	鉄筋コンクリート		20.5 m ³	
殻運搬	DT4t 2.0km 鉄筋コンクリート		21 m ³	
Co殻処分費	鉄筋コンクリート		21 m ³	
構造物取壊し	無筋コンクリート	$17.9 + 26.9 + 9.2 = 54.0$	54 m ³	
殻運搬	DT4t 2.0km 無筋コンクリート		54 m ³	
Co殻処分費	無筋コンクリート		54 m ³	

仮設計画平面図 (1回目)

S=1:250



製作ヤード設置工(1)

数量計算書

名称	区分	算式	数量	略図
製作ヤード	護床ブロック 4t			
		製作個数 N=9個 既設ブロック 撤去・再設置 N=9個		
		借用型枠 1基		
		作業ヤード求積 別紙計算書より	84.53	
			85 m2	

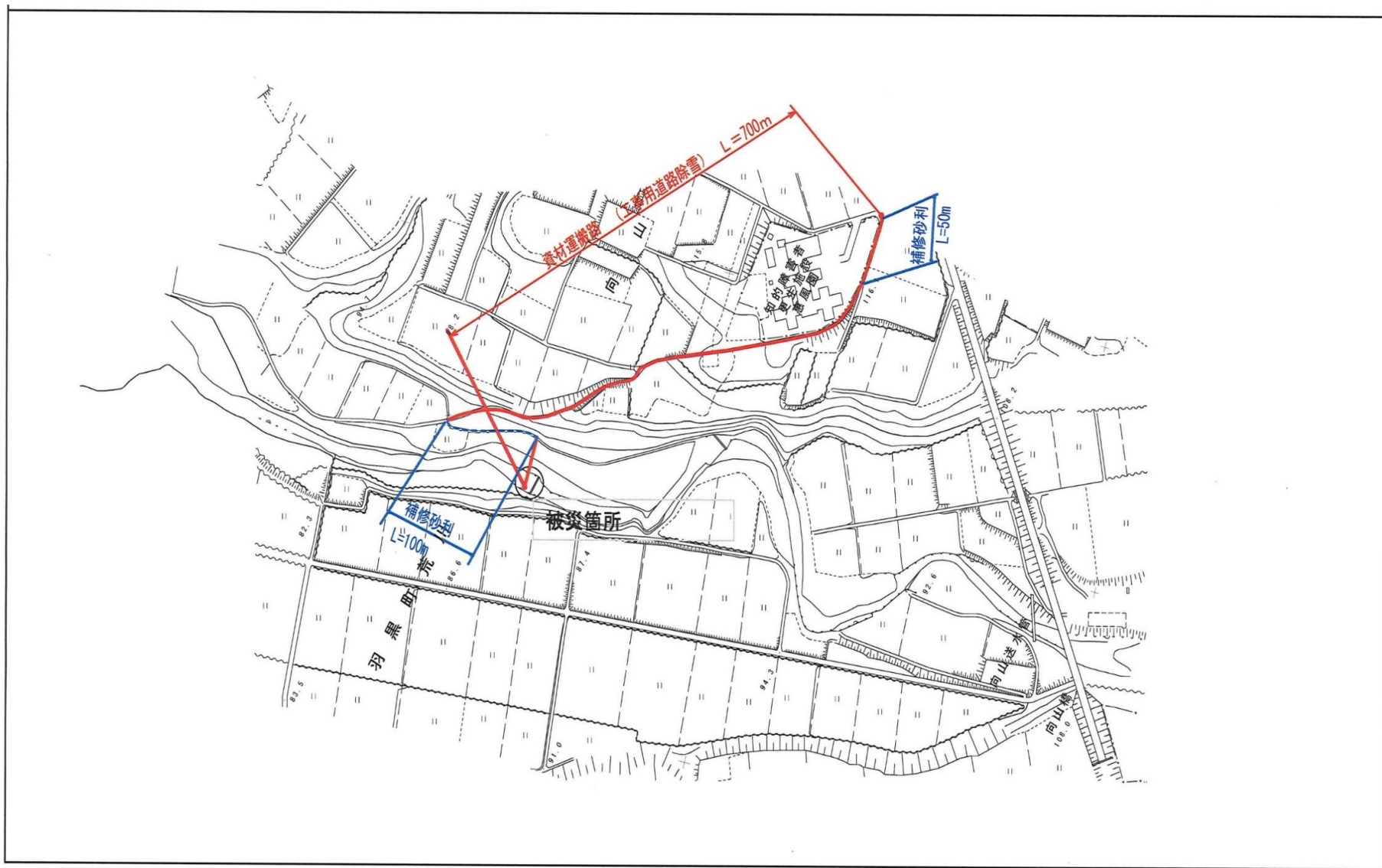
製作ヤード設置工(2)

数量計算書

名称	区分	算式	数量	略図
敷砂利	RC-40	$V = 85 * 0.10 = 8.5$	85.0 m ²	
ブルドーザー敷き均し	15t	"	85.0 m ²	
盛土材	購入土(山砂)	$V = (85 * 0.3) * 1.20 / 0.90 = 34.0$	34.0 m ³	
ブルドーザー敷均し 締固め		$V = 85 * 0.30 = 25.5$	25.5 m ³	
盛土撤去	BH0.8m ³ 掘削・積込	"	25.5 m ³	
残土運搬	DT 4t 2.0km	"	25.5 m ³	
残土敷均し	ブルドーザー 15t	"	25.5 m ³	

①固定除雪	道路補修	(除雪対象幅	3.0	m	除雪対象延長	650	m)			
		対象面積	3.0	×	650	=	1950	m ²			
		除雪係数	1.0								
		除雪深	1.24	m							
		除雪量=	1950	×	1.0	×	1.24	=	2418	m ³	
②延伸除雪	工事用道路	(除雪対象幅	3.0	m	除雪対象延長	53.4	m)			
		対象面積	3.0	×	53.4	=	160	m ²			
		除雪係数	0.6								
		除雪深	1.24	m							
		除雪量=	160	×	0.6	×	1.24	=	119	m ³	
③移動除雪	BH除雪量	(現場内)									
		対象面積	204.96	m ²	(除雪幅根拠図より)	11.2	×	18.3	=	204.96	
		除雪係数	0.3								
		除雪深	1.24	m							
		除雪量=	204.96	×	0.3	×	1.24	=	76	m ³	
	BH除雪量	(仮設ヤード)									
		対象面積	85	m ²							
		除雪係数	0.3								
		除雪深	1.24	m							
		除雪量=	85	×	0.3	×	1.24	=	32	m ³	

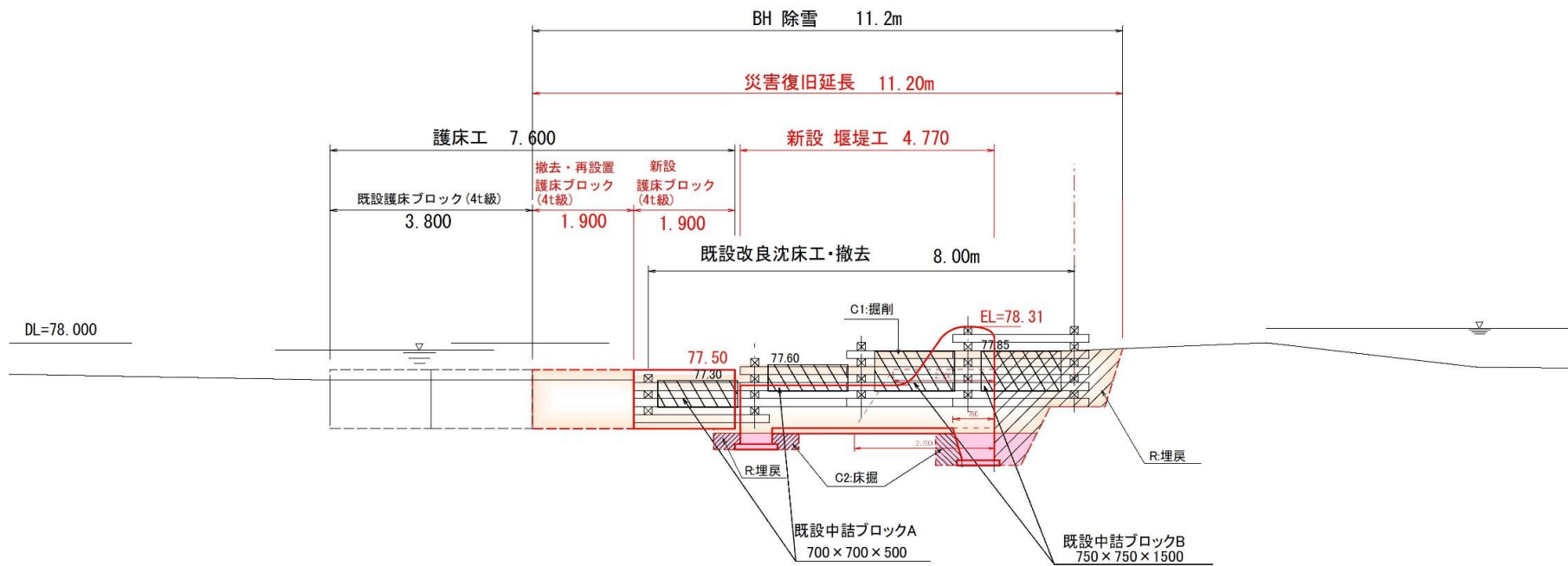
工事用道路



除雪幅根拠図

NO. 0

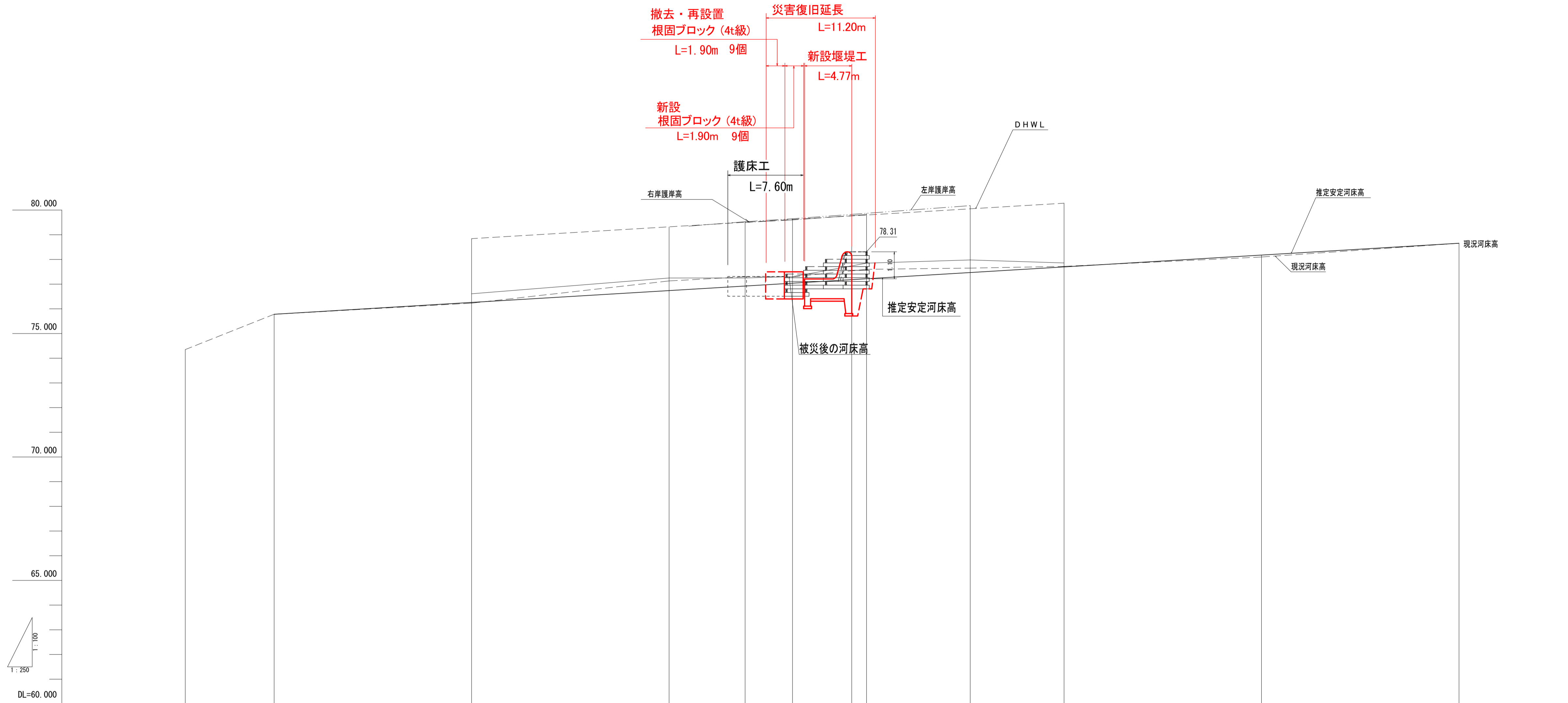
GH=77.850
FH=



位置図



縦断図



計画河床高	75.786		H=2.87 L=120.00										78.656
盛土													
切土													
計画高													
河床高	74.356	75.786	77.44	77.13	77.25	77.30	77.30	77.60	77.65	77.72	78.10	78.656	
地盤高			76.61	77.25	77.23	77.30	77.30	77.85	77.23	77.86			
追加距離	-69.000	-60.000	-40.000	-20.000	-12.300	-7.500	-1.500	0.000	10.500	20.000	40.000	60.000	
岸距離	0.000	9.000	20.000	20.000	7.700	4.800	6.000	1.500	10.500	9.500	20.000	20.000	
測点	-69.0	-60.0	-40.0	-20.0	-12.3	-7.5	-1.5	0.0	+10.5	+20.0	+40.0	+60.0	

実施

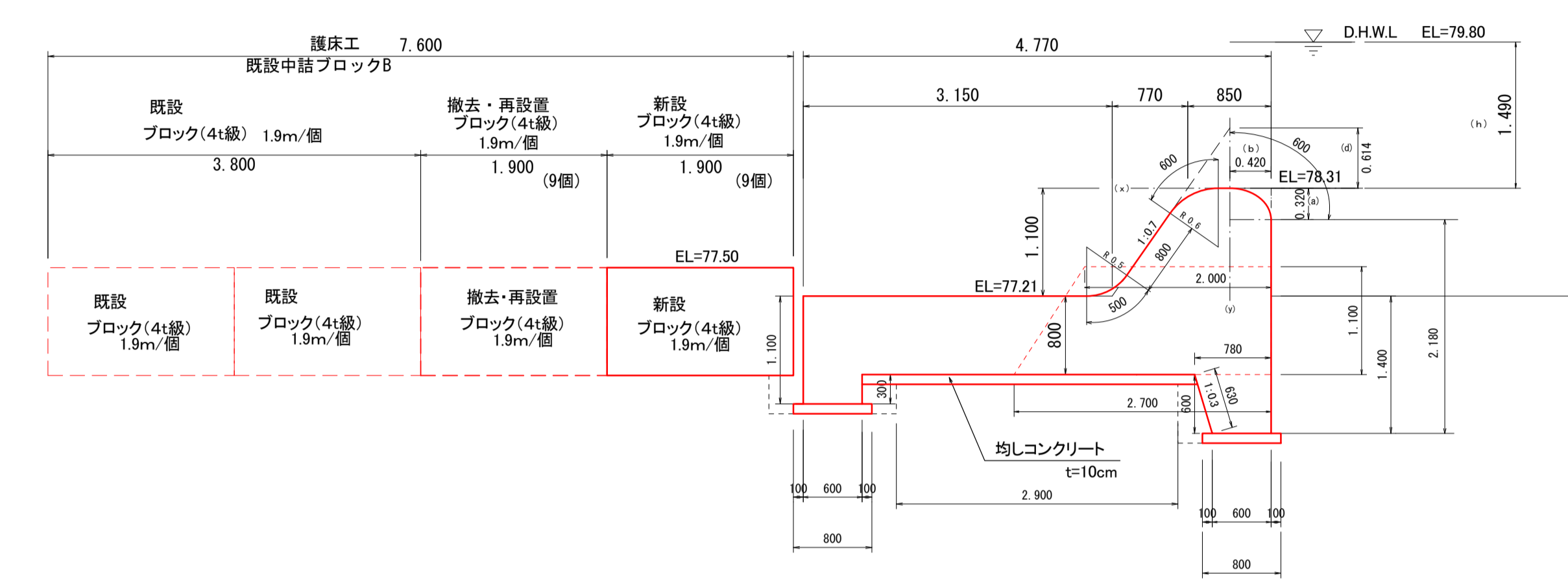
令和 6年7月25日~7月26日 豪雨災害

年 災 名	地区及地区番号	地 区 名	工 種
令和 6年災	33-121	切浜(2)	頭首工
工 事 名	切浜2号頭首工 縦断図		
図 面 名	切浜2号頭首工 縦断図		
作成年月日	令和 7年 8月		
縮 尺	図示	図面番号	2/
会 社 名	有限会社 鶴岡測量		
事業(務)所名	鶴岡市羽黒庁舎産業課		

堰堤工構造図

S=1:50

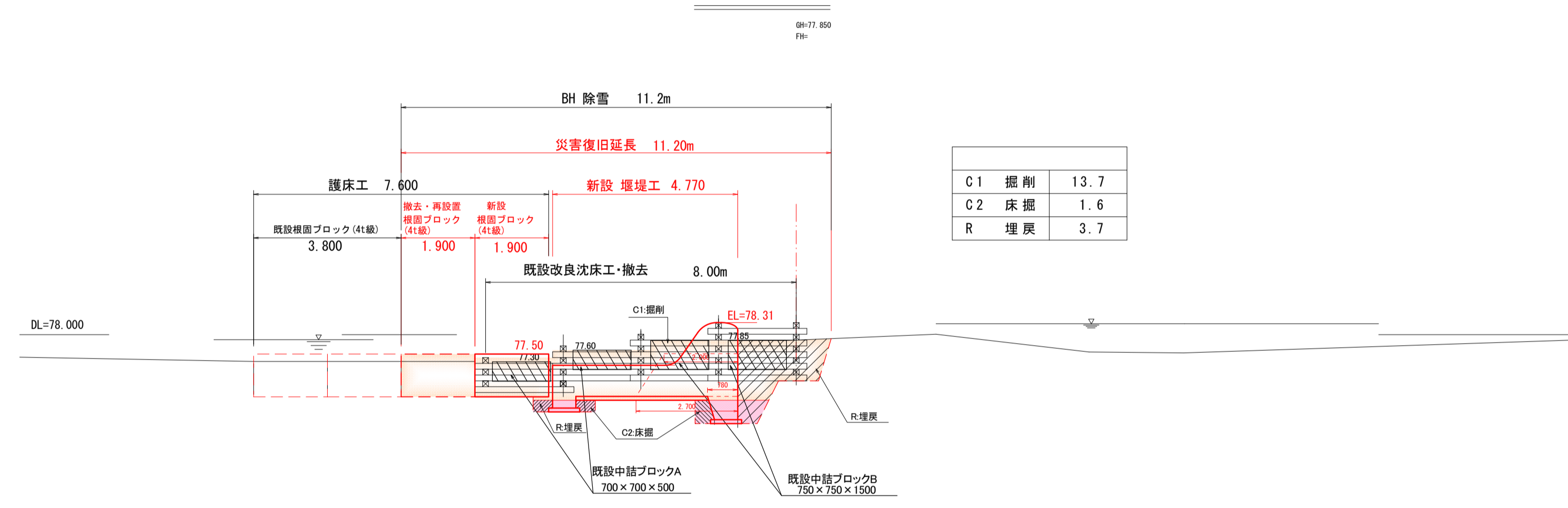
堰堤工 L=17.0m



断面図

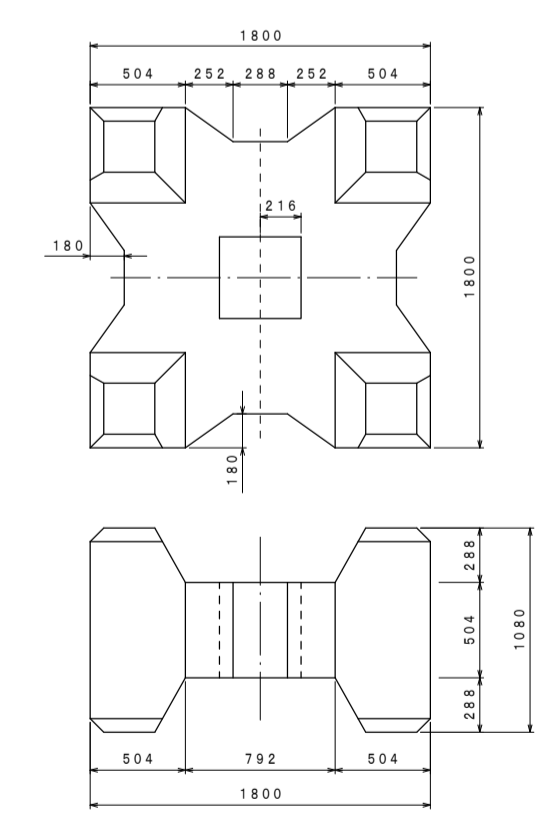
S=1:100

NO. 0



護床工構造図

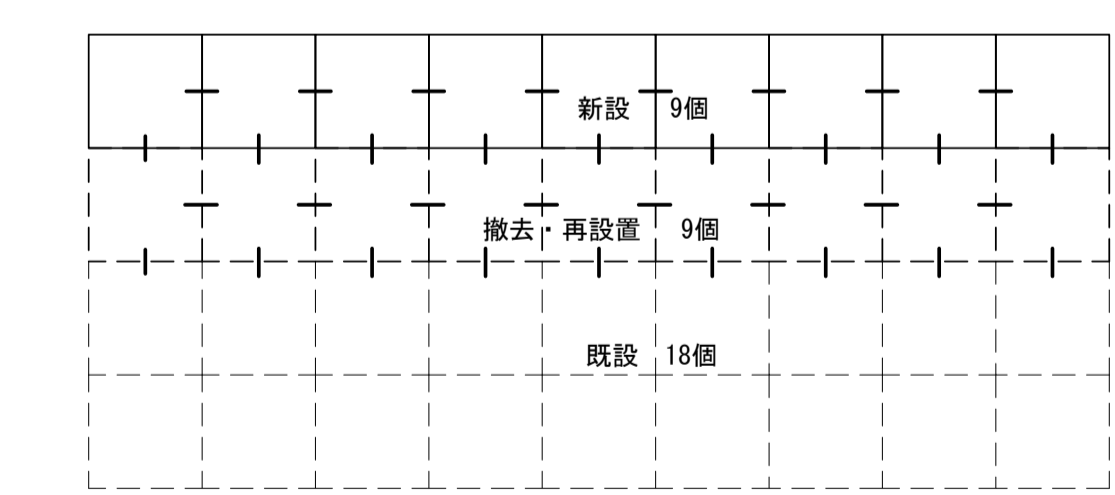
平型ブロック



諸数値

項目	数値
体積	1.745 (m ³)
参考重量	4.014 (t)

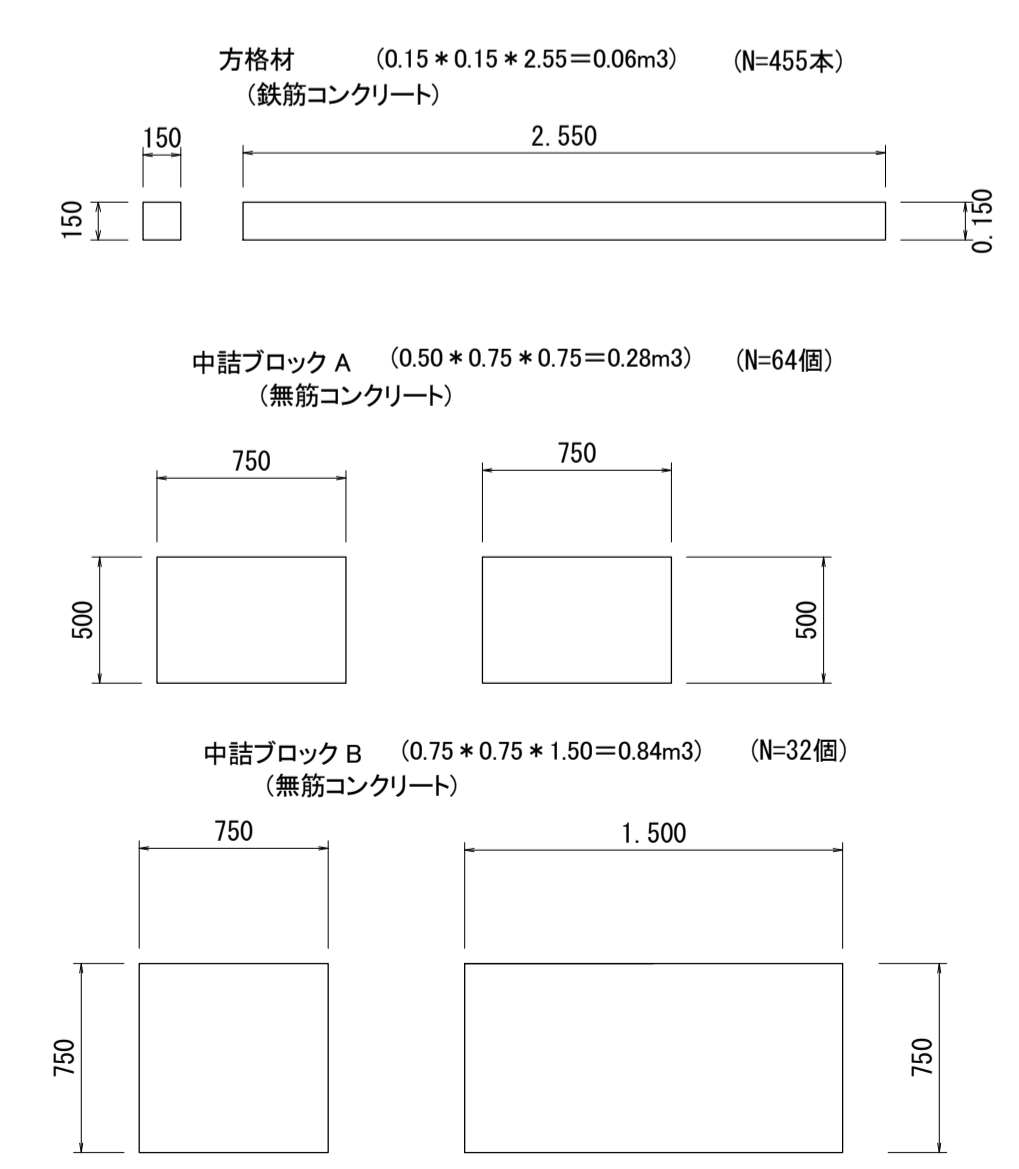
フック・シャックル詳細図



フック・シャックルの数

フック	68 (本)
シャックル	34 (組)

撤去構造物



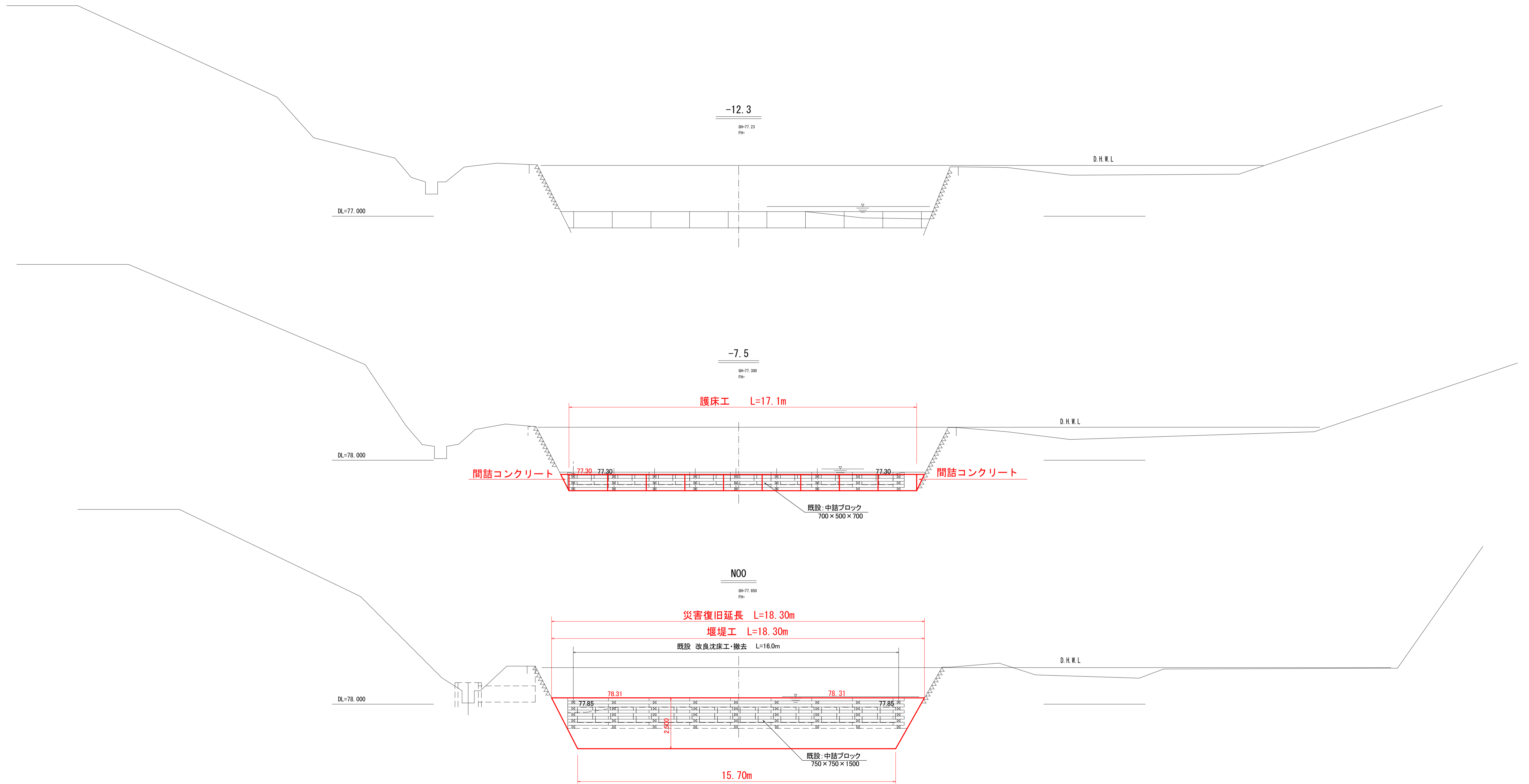
実施

令和 6年7月25日～7月26日 豪雨災害

年 災 名	地区及地区番号	地区 名	工 種
令和 6年災	33-121	切添(2)	頭首工
工 事 名			
切添2号頭首工			
断 面 名			
断面図・堰堤工構造図・護床工構造図			
作成年月日			
令和 7年 8月			
縮 尺	図 示	図面番号	3/
会 社 名			
有限会社 鶴岡測量			
事業(務)所名			
鶴岡市羽黒庁舎産業課			

横断図

S=1:100



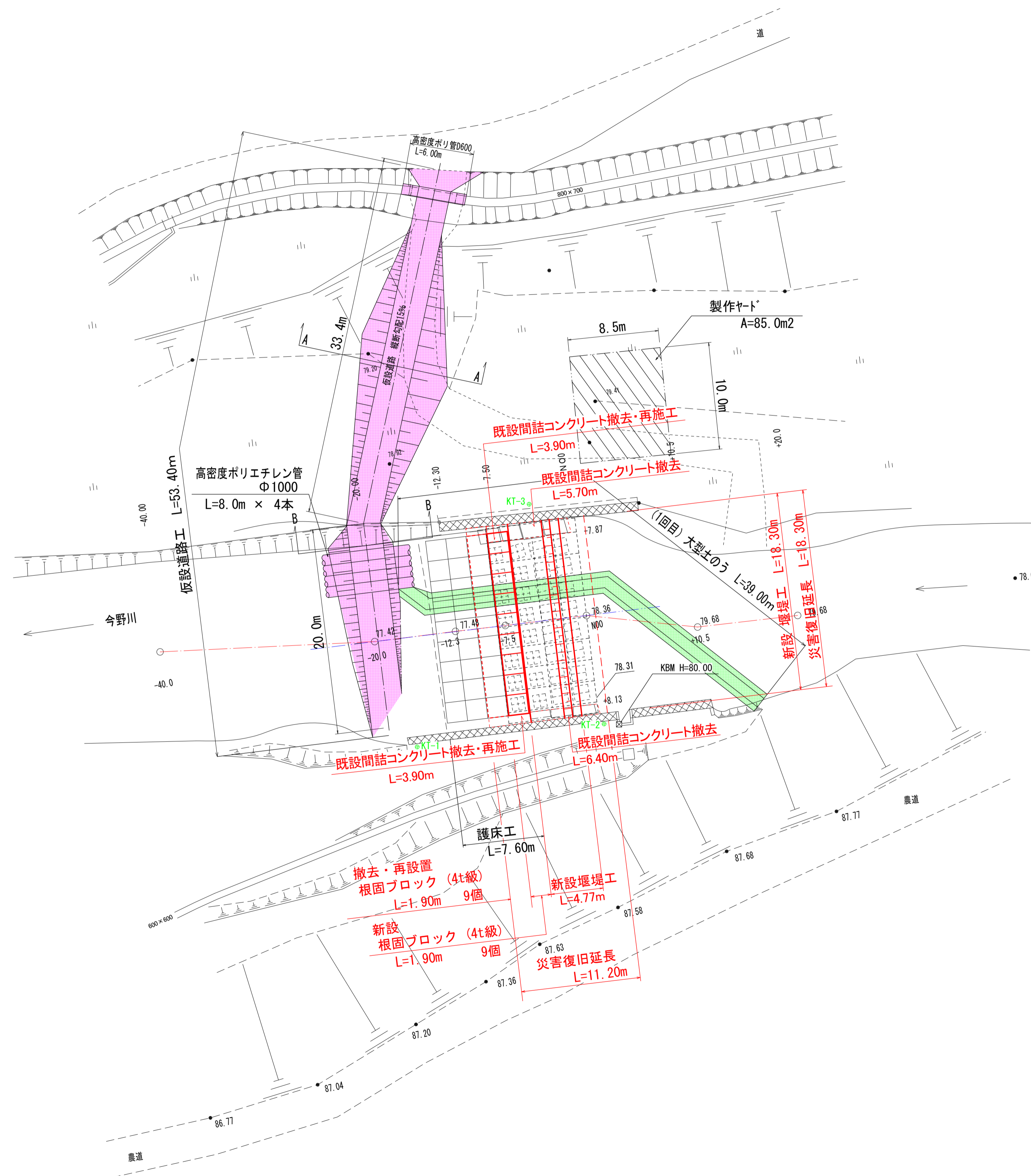
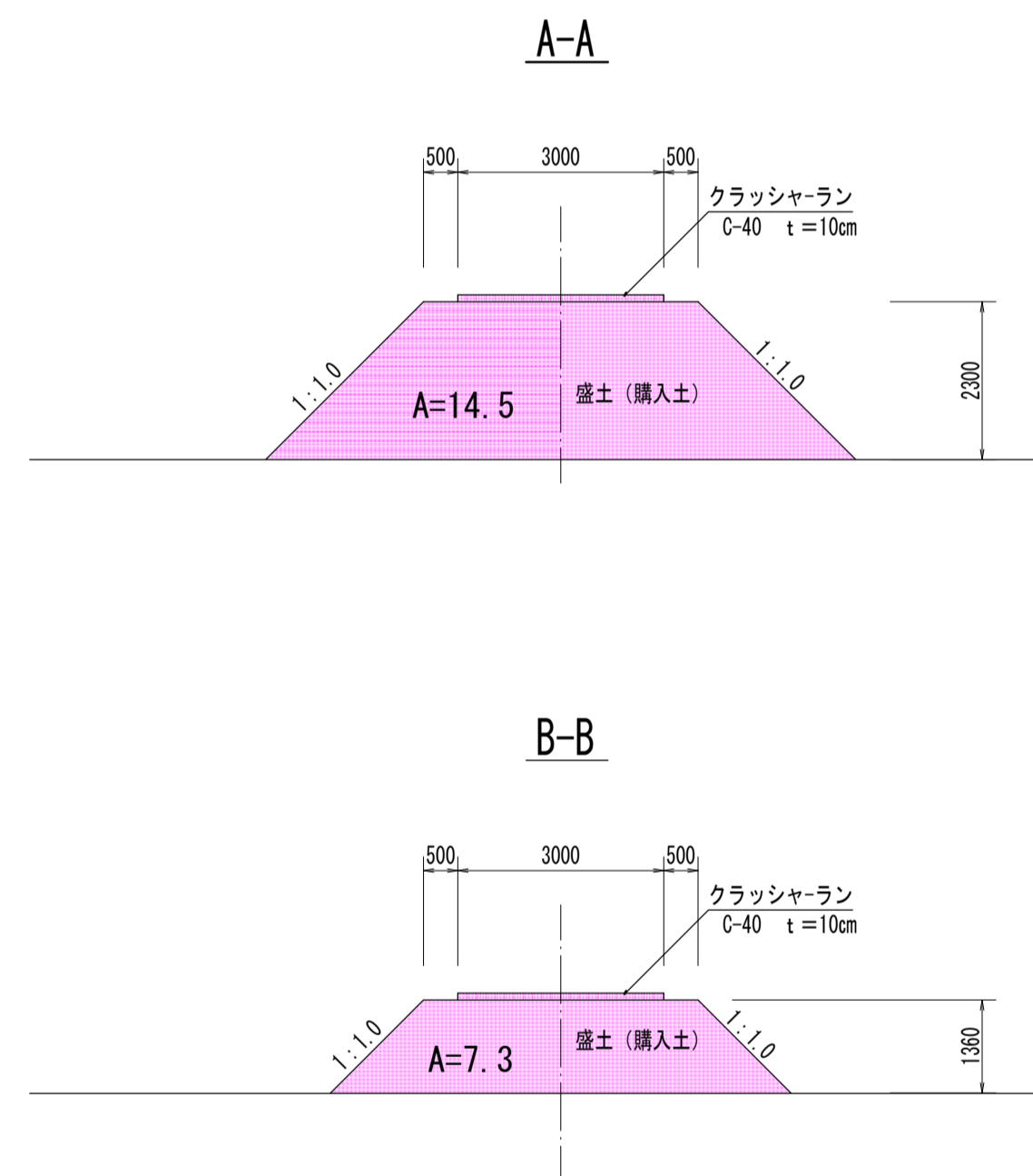
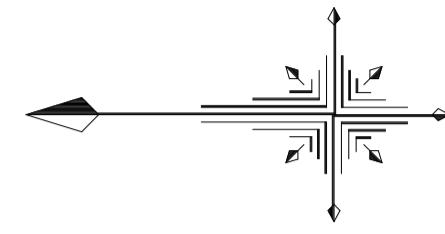
実施

令和 6年7月25日～7月26日 豪雨災害

年 災 名	地区及地区番号	地 区 名	工 種
令和 6年災	33-121	切添(2)	頭首工
工 事 名			
図 面 名 切添2号頭首工 横断図			
作 成 年 月 日 令和 7年 8月			
縮 尺	S=1:100	図 面 番 号	4/
会 社 名 有限会社 鶴岡測量			
事 業 (務) 所 名 鶴岡市羽黒庁舎産業課			

仮設計画平面図 (1回目)

S=1:250



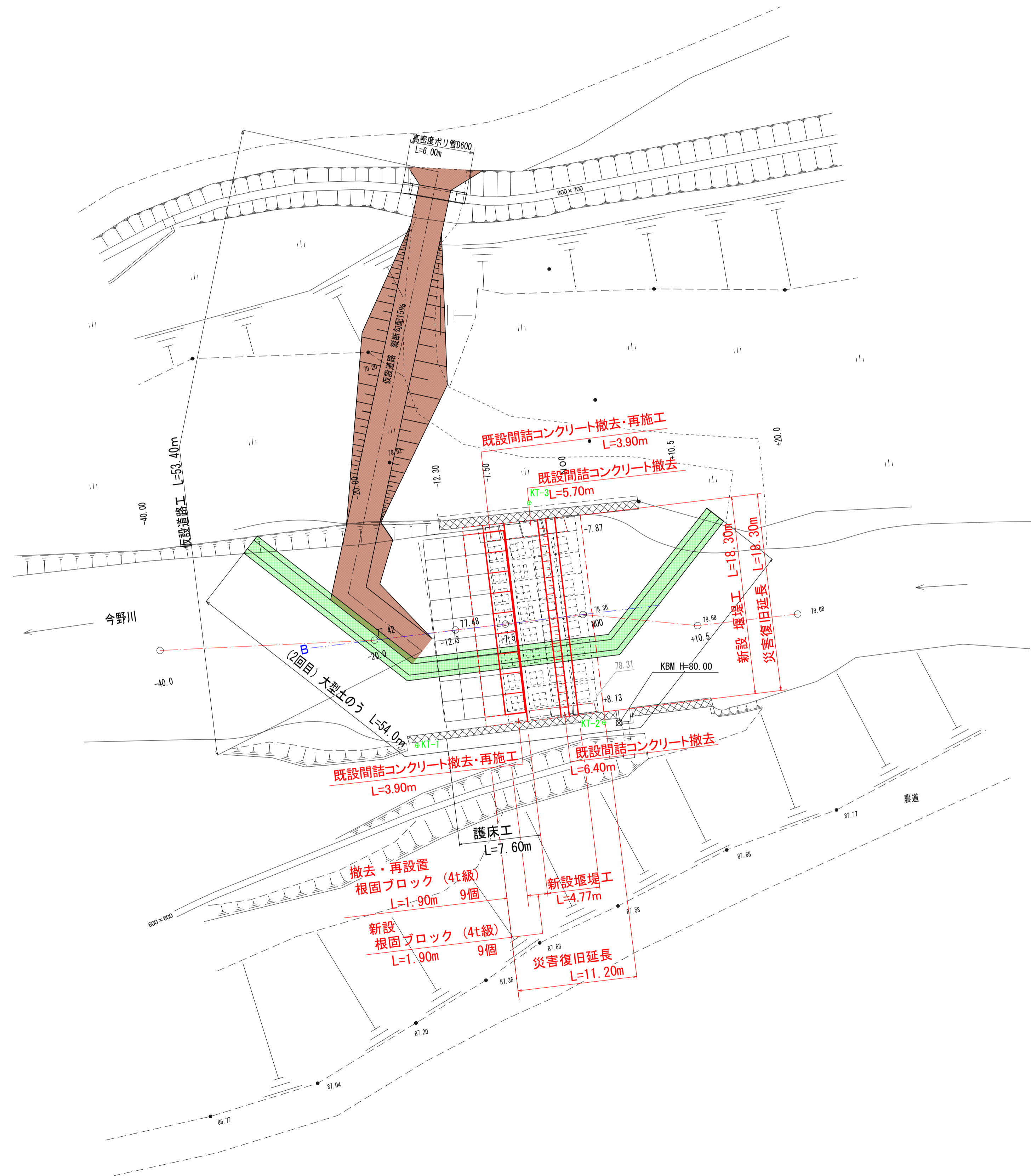
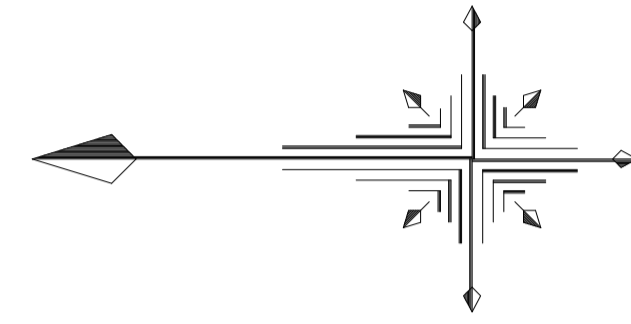
実施

令和 6年7月25日~7月26日 豪雨災害

年 災 名	地区及地区番号	地 区 名	工 種
令和 6年災	33-121	切添(2)	頭首工
工 事 名			
切添2号頭首工 仮設計画図 (1回目)			
作 成 年 月 日			
令和 7年 8月			
縮 尺		縮 尺	縮 尺
S=1:250		図面番号	5/
会 社 名			
有限会社 鶴岡測量			
事業(務)所名			
鶴岡市羽黒庁舎産業課			

仮設計画平面図 (2回目)

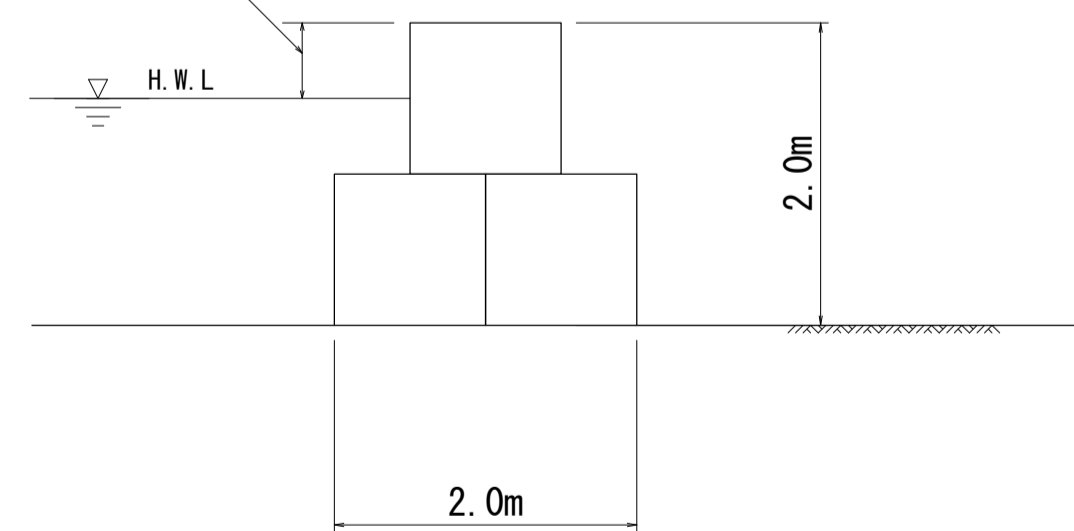
S=1:250



大型土のう

S=1:50

余裕高0.5m以上



実施

令和 6年7月25日~7月26日 豪雨災害

年 災 名	地区及地区番号	地 区 名	工 種
令和 6年災	33-121	切添(2)	頭首工
工 事 名			
切添2号頭首工 仮設計画図 (2回目)			
作成年月日 令和 7年 8月			
縮 尺	S=1:250	図面番号	6/
会 社 名	有限会社 鶴岡測量		
事業(務)所名	鶴岡市羽黒庁舎産業課		

特記仕様書

令和8年度 令和6年災 33-121 切添2号頭首工災害復旧工事

1. 共通仕様書の適用

本工事の施工にあたっては、山形県農林水産部制定「土木工事等共通仕様書（最新版）」（以下「共通仕様書」という。）、施工管理基準（最新版）及びこの特記仕様書に基づいて実施するものとする。

なお、令和7年10月以降に改定された内容は以下のホームページに掲載されているので、最新版を適用するものとする。

山形県のホームページ (<http://www.pref.yamagata.jp>)

→産業・しごと

→農林水産業

→農業農村整備

→設計・積算システム管理

→農業農村整備事業技術管理 設計・工事に関すること

2. 共通仕様書に対する特記事項

共通仕様書に対する特記使用事項は次のとおりとする。

第1編 共通編

第1章 総則

1-1. 工事区分

工種区分は土木工事（河川工事）とする。

1-2. 工事の下請け

受注者は、下請け契約の請負金額によらず工事の一部を下請負に付する場合は、下請計画（変更）報告書、下請け業者一覧表及び当該工事に係る下請け契約書の写しを提出しなければならない。また施工体制台帳及び体系図を作成し、速やかに監督職員に提出しなければならない。

なお、下請計画（変更）報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もありうる。

1-3. 技術者の専任期間

1. 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、落札決定後、監督職員との打ち合わせにおいて定める。

2. 工事完成後、検査が終了し、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日とする。

1-4. 設計変更の手続き

設計変更については、建設工事請負契約約款及び土木工事共通仕様書によるところであるが、その基本的な考え方や手続きについては、「土木工事施工円滑化関係集(令和2年12月改定)山形県土木工事施工円滑化推進会議」の第1章「設計変更ガイドライン」及び第3章「工事一時中止に係るガイドライン」によるものとする。

1-5. 沿線住民への周知

工事着工前に施工箇所を示した住宅地図を添付した工事のお知らせを作成し、監督職員の承諾後に地元の町内会長と沿線住民に配布すること。また、農用地、農業用施設への侵入通路を止める際には、前もって予告看板等を設置し利用者への周知を図ること。

1-6. 工事現場発生品

従来施設の撤去により発生した二次製品等については、監督職員と処理方法及び数量確認について協議を行うこと。協議内容について工事打合簿により記録し提出すること。

1-7. 建設副産物関係

1. 本工事により発生する特定建設資材廃棄物(コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材)は、再資源化施設に搬出するものとする。特に、下記に示す特定建設資材廃棄物の搬出先はそれぞれ次の条件も満たすものとする。

【コンクリート塊】

規格品の再生クラッシャーラン(RC-40)として再資源化している再資源化施設

【アスファルト塊】

再生加熱アスファルト混合物の原材料として再利用している再資源化施設(アスファルトプラントでなくても、そのアスファルト塊が、最終的に再生加熱アスファルト混合物として利用されることが確認できる施設でも可)

2. 建設リサイクル法第6条に規定する「建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担」に基づき、条件明示する特定建設資材廃棄物の搬出施設は、下記のとおりである。なお、搬出完了後、マニフェスト(E票)の写しを提出すること。

【コンクリート塊】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
	鶴岡市西目字山田森 28-1	小野寺建設(株)	8:00～17:00
○	鶴岡市斎藤川原字石川端 77-1	田川砂利工業(株)	8:00～17:00
	鶴岡市勝福寺字根木瀬 158-1	鶴岡建設(株)	8:00～17:00
	鶴岡市大字馬町宮ノ腰 115	(株)三浦土建	8:00～17:00
	鶴岡市藤島字西細杖 262-2	日本海アスコン共同企業体	8:00～17:00
	鶴岡市柳久瀬字武良免 17-7	(株)青木建材	8:00～17:00

	鶴岡市田代字広瀬 16-2	(株)渡會電気土木田代工場	8:00～17:00
--	---------------	---------------	------------

【アスファルト塊】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
	鶴岡市勝福寺字根木瀬 158-1	鶴岡建設(株)	8:00～17:00
	鶴岡市大字馬町宮ノ腰 115	(株)三浦土建	8:00～17:00
	鶴岡市藤島字西細杖 262-2	日本海アスコン共同企業体	8:00～17:00

【建設発生木材】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
	鶴岡市西目字山田森 28-1	小野寺建設(株)	8:00～17:00
	鶴岡市田代字広瀬 16-2	(株)渡會電気土木田代工場	8:00～17:00
	鶴岡市西目字水上沢 129-5	ウィズ環境(株)(シンテック)	8:00～17:00

3. 受注者は、自らの都合により、前項の条件明示事項と別の方法等による場合においては、土木工事共通特記仕様書第 1 編共通編 1-1-12 建設副産物第 2 項に規定する契約前の説明において説明を行うものとする。

なお、この場合において、搬出予定の再資源化施設が第 1 項に規定する条件を満たすことを証する書類等の提出を求められた場合は、速やかにこれを提出しなければならない。

また、この場合であっても、設計図書の変更は行わないものとする。

4. 受注者は、建設リサイクル法第 18 条第 1 項の規定により、特定建設資材(コンクリート、アスファルト、木材)廃棄物の再資源化等が完了した場合、共通仕様書で定める建設廃棄物処理結果報告書に特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用を追記し、監督職員に提出しなければならない。
5. 受注者は、工事完了時に「建設リサイクル報告様式(計画書・実施書)」の内容について入力し、データを提出するものとする。(なお、上記様式は国土交通省のリサイクルホームページ http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm より入手可能。)
6. 受注者は、再生資源利用計画書及び、再生資源利用促進計画書の内容について、『建設副産物情報交換システム-COBRIS-』((財)日本建設情報総合センターWeb 版入力システム)に登録してはならない。
7. 建設資材廃棄物の搬出時には、過積載を防止し、運搬車両に「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」により、産業廃棄物運搬の表示及び書面を備え付けること。

1-8. 履行報告

受注者は、当初の請負代金が 1 件 1,000 万円以上の工事については、毎月の履行状況を工事履行報告書(鶴岡市、様式第 10 号の 3)により監督職員に提出しなければならない。

1-9. 中間前金払

契約約款第 36 条第 3 項に基づき中間前金払の支払を請求しようとするときは、あらかじめ、中間

前金払認定請求書(鶴岡市, 様式第 10 号の 2)に、監督職員の確認を受けた直近の工事履行報告書(鶴岡市, 様式第 10 号の 3)の写しを添えて提出するものとする。

1-10. 工事名標示板に関する事項(安全確保関係)

工事名標示板に記載する、工事の種類及び工事内容の説明は次のとおりとする。

工事の種類	(例)災害復旧工事中
工事内容の説明	(例)被災した頭首工を復旧しています

1-11. 交通安全に関する事項

1. 交通誘導員の配置

交通管理に要する交通誘導員の配置計画は任意とする。

なお、交通管理者との協議により配置計画について条件が付された場合には、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。

本工事では、工事期間中の交通整理として、交通整理員一名を計上している。

1-12. 事業損失に関する事項(環境対策関係)

1. 施工途中において、工事騒音、振動、地下水低下等の影響により、調査及び対策の必要が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。
2. 工事の施工に伴い、騒音振動の測定が必要になった場合は、監督職員と協議しなければならない。

1-13. 他工事との関連事項について(工程関係)

1. 別途発注の他工事について、本工事の施工に際して支障が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。

1-14. 災害時の協力体制

1. 緊急巡回

I 緊急巡回とは、台風、豪雨、豪雪、地震等により、工事現場において災害が発生した場合又はそのおそれがある場合にその状況を把握し、適切な措置を講じるもので、監督職員の指示により巡回を行うものである。

II 緊急巡回担当者は、工事現場の異常等を発見した場合には、速やかにその危険を防止するため、その場でとりうる適切な措置を講ずるとともにその状況について、監督職員に報告するものとする。

III 緊急巡回にあたっては、写真撮影をし、日時及びその状況を記録しておくものとする。

IV 緊急巡回中に事故が発生したときは、速やかにその状況を監督職員に報告しなければならない。

2. 災害時の協力体制と緊急時の諸作業

工事現場が災害等で被災した場合に備え、協力体制を確立するとともに、指示があった場合は、被害を最小限に抑えるため、緊急時における諸作業を実施する。

3. 緊急巡回及び緊急時の諸作業に関する詳細については、発注者・受注者双方の協議により行うものとする。

1-15. 事故報告

1. 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、第1報を直ちに監督職員へ電話にて通報するとともに、通報後速やかに工事事故報告書(山形県、参考様式5)をFAX、又はE-Mailにより提出しなければならない。
2. 報告する事故の分類は、当該建設工事現場に関係する「労働災害」、「もらい事故」、「死傷公衆災害」、「物損公衆災害」とし、事故の規模を問わず、すべて報告すること。
3. 工事事故報告書様式は、以下のホームページに掲載している。

山形県のホームページ(<http://www.pref.yamagata.jp>)

→ 県政情報

→ 山形県の紹介

→ 組織案内

→ 県土整備部

→ 建設企画課

→ 共通仕様書(土木工事)

1-16. その他

1. 工事費の増減を伴う変更が生じた場合、すみやかに監督職員に連絡し、指示をあおぐこと。了解を得ずに増工(増額)したものについては変更の対象としない。
2. 当初工程表より現場着工時期(実作業期間)に遅れが生じた場合は、現場着工前に変更工程表を作成し、監督職員に提出すること。
3. 当該工事期間中に、建設業退職金共済組合の証紙を追加購入した場合は、工事完成時に追加分の建設業退職金共済組合掛金収納書届を提出すること。
また、工事完成時に建設業退職金共済組合の証紙の受払状況の確認できる書類を監督職員に提出すること。

第2章 土 工

2-1. 残土受入地

受注後、土砂運搬工着手までに発注者が搬出先を決定する。運搬距離及び処分費については、協議するものとする。なお、発注時の運搬距離は2kmとしている。

第3章 無筋・鉄筋コンクリート

3-1. 配合

1. 下記工種のコンクリートは、共通仕様書(参考資料) レディーミクストコンクリート標準使用基準の次の規格によるものとする。

工種	呼び強度	粗骨材最大寸法 (mm)	水セメント比 (%)	セメントの種類
均し基礎コンクリート	18	40	65 以下	高炉(B)
コンクリート打設	18	40	65 以下	高炉(B)
消波根固めブロック	21	25(20)	65 以下	高炉(B)
間詰コンクリート	18	40	65 以下	高炉(B)

第2編 材料編

第1章 一般事項

1-1. 指定材料の確認

受注者は、下記の工事材料を使用する場合には、その外観及び品質規格証明書等を照合して確認した資料を事前に監督職員に提出し、監督職員の確認を受けなければならない。

区分	確認材料名	摘要

1-2. 工事材料の確認

市が一括承認済みの資材については、承認図等の添付を省略することができる。一括承認済みの資材は発注担当部署にて確認すること。

なお、使用材料は、納入された時に必ずその品質や形状について適当なものか審査し、不良品は返却等の処置を施すこと。(確認時に不良品を発見した場合、手直しを指示する場合がある。例えば二次製品、路盤材料などの入替え)

第2章 土木工事材料

2-1. 再生資材の使用

工事に使用する再生資材は次表のとおりとする。

材料名	規格	使用箇所	摘要
再生碎石	RC-40	道路補修・仮設道路	-
生コンクリート	BB 18-8-40	堰提工、間詰コンクリート	
生コンクリート	BB 21-8-25	消波根固めブロック	

1. 再生クラッシャーランは、廃棄物であるコンクリート塊、アスファルトコンクリート塊を破碎、選別、混合物除去、粒土調整等を行うことにより再資源化された資材をいい、これら以外の材料(新材の碎石又はズリ等)が混合されていない状態のものをいう。

2-2. 購入土

購入土は、CBR12%以上とし監督職員の承諾を得なければならない。

2-3. 生コンクリート

工事に使用する生コンクリートは、高炉セメント(B種)を標準とする。

2-4. セメントコンクリート製品等

本工事で使用する材料については、監督職員の承諾を得なければならない。

2-5. 納入時の材料確認

使用材料は、納入された時点で必ずその品質や形状について適当なものか審査し、不良品は、返却等の処置を施すこと。検査時に不良品を発見した場合、撤去再設置等の手直しを指示する場合がある(例えば二次製品、路盤材料など)。

2-6. 建設資材調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。

また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

資材名	規格	調達地域等
碎石	RC-40	庄内地区

第3編 土木工事共通編

第1章 総則

1-1. 起工測量

施工に当り、起工測量を行い縦断計画及び幅員測量の結果について監督職員へ報告するものとする。

1-2. 段階確認

共通仕様書 第3編 共通編 1-1-2 監督職員による確認・立会等により指定された工種に、次の工種を追加するものとする。

種別	細別	確認時期
準備工	丁張確認	丁張完了時
護床工	消波ブロック寸法確認	製作完了時

1-3. 工事中の安全確保

土木工事にあつては、共通仕様書 第1編 1-1-30 施工管理の規定に加え、以下の規定によらなければならない。請負者は、建設工事公衆災害防止対策要綱（国土交通省告示第496号、令和元年9月2日）を遵守して災害の防止を図らなければならない。なお、詳細については監督職員と協議を行うこと。

また、受注者は鶴岡警察署に申請する道路使用許可申請書の道路使用許可条件に従い、施工すること。

明 示 事 項

1-1.

本工事は冬季歩掛補正を適用するものとする。但し、運転手(特殊・一般)、助手は補正対象外とする。なお、4 月以降の工事については冬季歩掛補正を適用しないため 3 月末時点での出来形を報告するものとする。

1-2.

降雪時期の施工が見込まれるため、施工上必要最低限の除雪を行うものとし、除雪を行った日については降雪量をデータ・写真で管理するものとする。

1-3. 提出書類

受注者は、建設工事請負契約約款第3条に規定する工程表を所定の様式に基づき作成し、監督職員を経由して発注者に提出しなければならない。

また、工事の一部を下請負に付する場合は、下請計画(変更)報告書を提出し、監督職員の承諾を得なければならない。承諾後は、施工体制台帳及び体系図を作成し、速やかに監督職員に提出しなければならない。

なお、下請計画(変更)報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もありうる。

1-4. 施工計画書

受注者は、工事着手前に本工事の施工計画書を監督職員に提出しなければならない。

ただし、維持工事や小規模工事(請負金額130万円以下)においては監督職員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。

また、施工計画書の内容に変更が生じた場合には、その都度変更施工計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、変更内容が数量のわずかな増減等の場合は、後日の提出で良いものとする。

1-5. 環境対策

当該工事を施工するにあたり、排出ガス対策型の建設機械を使用するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械の使用ができない場合は、その理由を書面により監督職員に提出し承諾を得ること。なお、対策型を使用しない場合は、変更の対象とする。

また、工事写真により使用機械を判定するため、現場との整合が図れるように記録すること。

R6年災

33-121 切添2号頭首工

1. 被 災 状 況 写 真

33-121

切添 頭首工

写真撮影方向 (運搬道路)



33-121

切添 頭首工

①被災全景写真



33-121

切添 頭首工

②被災全景上空写真



33-121

切添 頭首工

③被災全景写真 (上流側より)



33-121

切添 頭首工

④被災全景(縦断)写真 (左岸側より)



33-121

切添 頭首工

⑤被災全景(縦断)写真 (右岸側より)



33-121

切添 頭首工

既設護床ブロック状況

⑥



⑦



33-121

切添 頭首工

既設護床ブロック状況

⑧



⑨



33-121

切添 頭首工

被災状況

⑩



⑪



33-121

切添 頭首工

被災状況

⑫



⑬



33-121

切添 頭首工

被災状況

⑭



⑮



33-121

切添 頭首工

被災状況

⑩



⑪



33-121

切添 頭首工

洪水位

⑱



⑲



33-121

切添 頭首工

資材運搬道路

⑳



㉑



33-121

切添 頭首工

②② 仮設道路・ヤード予定位置

